

大江神社だより



大江神社氏子総代会

発行日 平成29年6月1日 号外

発行人 家田成夫

http://www.ooejinja.net/

大江神社社務所 543-0075 大阪市天王寺区夕陽丘町5-40

TEL&FAX06(6779)8554

E-mail shamusho@ooejinja.net

氏神様にお参りしましょう

〈清掃のご奉仕〉

毎月第2日曜

午前9時～11時頃

是非ご奉仕下さい。

今回は・・・

6月11日(日)朝9時～

7月 9日(日)朝9時～

9月10日(日)朝9時～

〈今後の予定〉

夏越大祓

6月30日(金)

午後4時～6時

夏祭

7月15日(土)・16日(日)

午後4時～9時

〈大江神社の御祭神〉

豊受大神(とようけのおおかみ)

五穀豊穡の祖神で、伊勢神宮の外宮にも祀られています。開運厄除、衣食住守護、諸業繁栄を司られ、水の徳顯著で生命を守られる神様です。

素戔嗚尊(すさのおのみこと)

勝山1丁目の小儀宮、大道1丁目の土塔宮に祀られていた、災厄除けの勇敢な神様です。

大己貴命(おおなむちのみこと)

は別名を大国主命、大国さんと言われ少彦名命(すくなひこなのみこと)と共に日本の国づくりをされた神様で、欽明天皇(きんめいてんのう)を御祭神としていた上之宮に共に祀られていました。

〈大江神社の御祭事〉

6月30日 夏越大祓

茅の輪くぐり

7月15・16日 夏祭

16日(祭典)の前の土日の開催となります。

10月16日 例祭(秋祭)

12月31日 大祓式

平成29年6月30日(金) 午後4～6時 ・ 神事斎行 午後6時

夏越大祓

日常無意識のうちに身につけた私たちの罪穢れは、古くより六月と十二月晦日に大祓という式により祓い清められてきました。大祓をなして無病息災をお祈りし心身共にすがすがしく、明日への希望に向かって邁進致しましょう。

『備後風土記』には、素戔嗚尊に旅の宿を供して難儀を救った蘇民将来が、尊の教えに従って腰に茅の輪を下げたところ、その子孫に至るまで厄疫なく立ち栄えたという逸文がありこの故事にならって、茅の輪をくぐり罪穢れや厄難を祓い落とすという神事が受け継がれてきました。また人形祈禱は、氏名・年齢を記して三度息を吹きかけた人形を氏神に納め、神社でそれを焚き上げて自らの身を祓い清めるという古くからの行事です。



↑ 昨年の夏越大祓の様子



わた菓子や蕨餅の夜店も



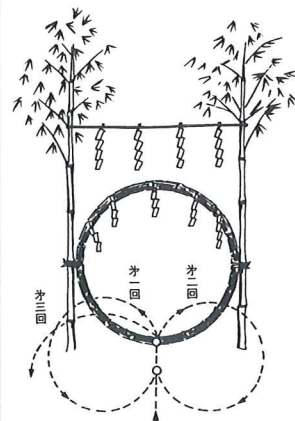
茅の輪くぐり (6/30午後4～6時)

「水無月の夏越の祓いする人は千歳の命延ぶるといふなり」と繰り返して唱え、茅の輪を三度くぐって、罪穢れや厄難をお祓い下さい。神前にて拝礼が終わりましたら、お神酒をお受け下さい。

茅の輪は6月末前後に設置していますので、上記時間帯以外でも、ご自由におくぐり下さい。

人形(ひとがた)ご祈禱

初穂料一枚100円以上お納め下さい。人形に名前・生年月日をご記入の上、悪い物が人形に移るよう祈念しながら身体を撫でて息を三度吹きかけ、拝殿前のからひつにお入れ下さい。後日、お焚き上げ致します。人形代(かたしろ)は6月中、社務所にてお頒けしていただきます。



← 茅の輪のくぐり方の図